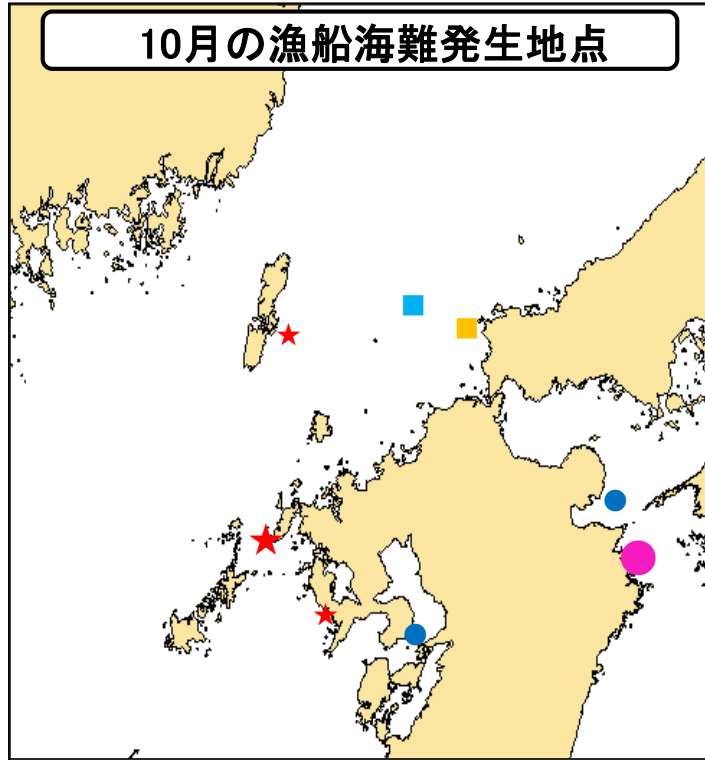


令和元年10月
七管内漁船海難 計12隻

令和元年10月累計95隻(前年88隻)
漁船海難発生累計件数は前年に比べ**7隻増加!!**

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	4
火災	●	4
運航不能 (機関故障)	■	1
浸水	●	2
転覆	■	1
合計 12 隻 (前年 18 隻)		

県別内訳		
	10月	令和元年累計
山口県	1	12(12)
福岡県	1	18(15)
佐賀県	0	7(6)
長崎県	5	46(40)
大分県	5	12(15)
合計	12隻	95隻 (88隻) ()は昨年同日



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



<事故事例(機関故障)>
A丸は、係留中に機関室から出火し、隣接する係留船舶を巻き込む火災を起こしました。その後の調査において、機関室内の配線がショートし、被膜を延焼して火災に至ったものであることが判明しました。

- ・ 冬は空気が乾燥し、火災が起きやすくなる時期です。
- ・ 掃除は、誰でも簡単に行える整備のひとつで、火災の原因になる埃や、劣化した配線など、掃除をしながらチェックが出来ます。
- ・ 船を綺麗にしてトラブルを未然に防ぎましょう。

注目 冬季にかけて
海難多発!!
気を引き締めて
海難ゼロを目指そう!!

見張りの励行
**自動操舵装置の
適切な使用を**

期間
・漁船セーフティラリー
10月1日～12月31日

